



2019年3月期 年次報告書

自 2018年4月1日
至 2019年3月31日

アトミクス株式会社

株主の皆様へ



拝啓 平素は格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

この度の「北海道胆振地方東部地震」「平成30年台風第21号」「平成30年7月豪雨」で被害を受けられた皆様に、心からお見舞い申し上げますと伴に、一日も早く復旧されますよう心よりお祈り申し上げます。

さて、当社グループの2018年度（2018年4月1日から2019年3月31日まで）の業績を取りまとめましたので、その概況についてご報告申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

敬 具

2019年6月

代表取締役社長 神保 敏和

目 次

- 株主の皆様へ … 1頁
- 営業の概況・次期の見通し … 2頁
- 事業の概要 …… 3頁
- 業績の推移 …… 5頁
- 連結決算報告(要約) … 7頁
- 決算報告(要約) … 8頁
- 株式情報 …… 9頁
- 会社概要 …… 10頁

営業の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用・所得改善に支えられ、緩やかな回復基調で推移しました。しかし、長期化する米中の通商問題、中国における環境規制の強化による各種原材料供給不安と価格の高騰、輸送コストの上昇等、経営環境は厳しい状況が続きました。

このような状況のもと、当社グループは「環境対策」「安全・安心」をキーワードに、環境対策製品や他社と差別化できるオンリーワンの製品及び工法の開発をスピード感をもって行うと共に、「競争力のある工場」を目指し各工場の運営体制の見直しによる原価低減にも努めてきました。輸送コストの上昇分について、下期より一部の運賃改定を実施させていただきました。

この結果、当連結会計年度の業績は売上高103億21百万円（前連結会計年度比7.7%減）、営業利益2億80百万円（同51.6%減）、経常利益3億1百万円（同49.2%減）、親会社株主に帰属する当期純利益1億84百万円（同62.7%減）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりです。

【塗料販売事業】

道路用塗料は、視覚障がい者誘導用シートが順調に推移したものの、路面標示用塗料では標準施工単価の上昇、車道に併設する自転車道の仕様変更により材料使用量が減少したこと、上期の西日本災害等による工事発注の遅れが年度末までに回復しなかったことにより前年を大幅に下回りました。床用塗料は、「フロアトップアクア フォルティス」をはじめとする水性製品や、より安全性が高い製品が伸長し前年を若干上回りました。建築用塗料は、戸建では順調に推移しましたが、工場関連の案件が取れず前年を下回りました。家庭用塗料においては、主要なホームセンターへの販売が伸びず前年を下回りました。また、今期より発足したレイズ事業部では、主力のアトムレイズ製品関連の案件を順調に受注することがで

き当初計画を達成しました。

この結果、当連結会計年度の塗料販売事業の売上高は前年に比べて5億49百万円減少し、94億94百万円（前連結会計年度比5.5%減）となりました。

【施工事業】

工事案件の大型化に伴い、工期の長期化と受注価格の増大が進み、その売上計上によって年度ごとの増減が大きくなっています。年度末における官公庁の工事発注量が少なかったこと及び前連結会計年度末において、道路施設の剥落対策及び橋梁補修工事が完工し、その売上計上をしているため前年を下回っています。

その結果、当連結会計年度の施工事業の売上高は、前年と比べて3億8百万円減少し、8億26百万円（前連結会計年度比27.2%減）となりました。

次期の見通し

次期の見通しにつきましては、引き続き国内景気は緩やかな回復基調で推移していくことを期待していますが、2019年10月施行予定の消費税増税による景気への影響、既の上昇傾向にある国産ナフサ価格による原材料の高騰や運送コストの上昇など厳しい状況が続くと予想されます。

このような状況のもと、当社グループは、昨年10月より開始したアトムサーベイシステムの活用による顧客及び市場の拡大、多様な環境に対応できる水性塗料とその工法を開発することにより環境対応製品の拡充を図っていきます。また、水性アクリル系塗膜を防水市場で拡販させていくこと、東京オリンピック・パラリンピックに関連する需要を取り込めるよう取り組んでいきます。

これらにより、2020年3月期の連結業績は売上高113億円、営業利益4億30百万円、経常利益4億40百万円、親会社株主に帰属する当期純利益3億円を見込んでいます。

事業の概要

当社グループの概要

当社グループは当社及び国内子会社4社で構成し、塗料販売事業と施工事業を行っています。

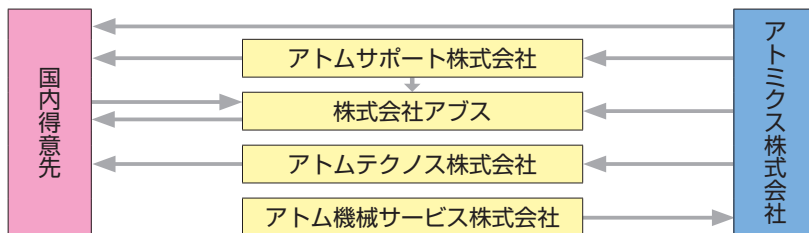
塗料販売事業では道路用塗料、床・屋根・防水などの建築用塗料、家庭用塗料、コンクリート構造物の保護・補修材の製造販売を行っています。

このほか、道路用塗料の施工機械の製造販売、交通安全や生活環境のインフラの維持管理に係るソフトウェアの開発と販売、物流業務を行っています。

また、施工事業では当社グループで製造した製品を用いた工事の請負を行っています。

当社グループの構成と各社の概要は次のとおりです。

1. 当社グループの構成

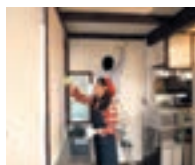


2. グループ各社の概要



アトミクス株式会社

本社所在地 東京都板橋区
資本金 10億4000万円
主 な 路面標示材等の道路用塗料、床用
事業内容 塗料などの各種塗料の製造及び販売



アトムサポート株式会社

本社所在地 東京都板橋区
資本金 3億80万円
主 な アトムハウスペイント等の家庭塗
事業内容 料、その他関連商材を中心とした
DIY商品の販売



株式会社アプス

本社所在地 埼玉県久喜市菖蒲町
資本金 3000万円
主 な アトムサポートからの物流業務の
事業内容 受託



アトム機械サービス株式会社

本社所在地 東京都板橋区
資本金 2500万円
主 な 路面標示用塗料の施工機械の製造
事業内容 及び販売、各種施工機のメンテナ
ンス



アトムテクノス株式会社

本社所在地 埼玉県さいたま市緑区
資本金 5000万円
主 な アトミクス製品を中心とする路面
事業内容 標示工事や各種構造物の景観材工
事の施工



経営の基本方針

当社グループは、塗料・交通安全の領域において「独創性に溢れた発想」と「高度な複合化技術」によって開発した製品と関連するサービスを提供することにより「安全かつ快適な住環境・屋外環境」を実現し、「生活者との信頼関係」を築くことで「社会に貢献すること」を経営の基本方針としています。

また、塗料販売事業と施工事業において、床用・屋根用・防水用などの建築用塗料、DIY用・ホームケア商品などの家庭用塗料、路面標示材などの道路用塗料と施工機械、これらに関するサービスを提供し、それぞれの分野でナンバーワン、オンリーワンを目指します。

代表的な製品群は次のとおりです。

(1) 路面標示用塗料



水性路面標示用塗料の速乾化工法をはじめ、水性型、溶剤型、溶融型のJIS規格品をはじめとする各種製品で交通安全に貢献しています。

(2) カラー舗装材



高速道路の進入箇所や歩車道分離・自転車通行帯などのカラー化により、走行区分を明確にし、交通事故の防止に貢献しています。

(3) 床用塗料



工場や倉庫、店舗等の床について、新設から改修まで、幅広い製品と工法でニーズに合わせた快適に働く環境づくりに貢献しています。

(4) 屋根用塗料



屋根の美化・保護に加えて高耐久性や遮熱性能を付加した製品で快適な生活と働く環境に貢献しています。

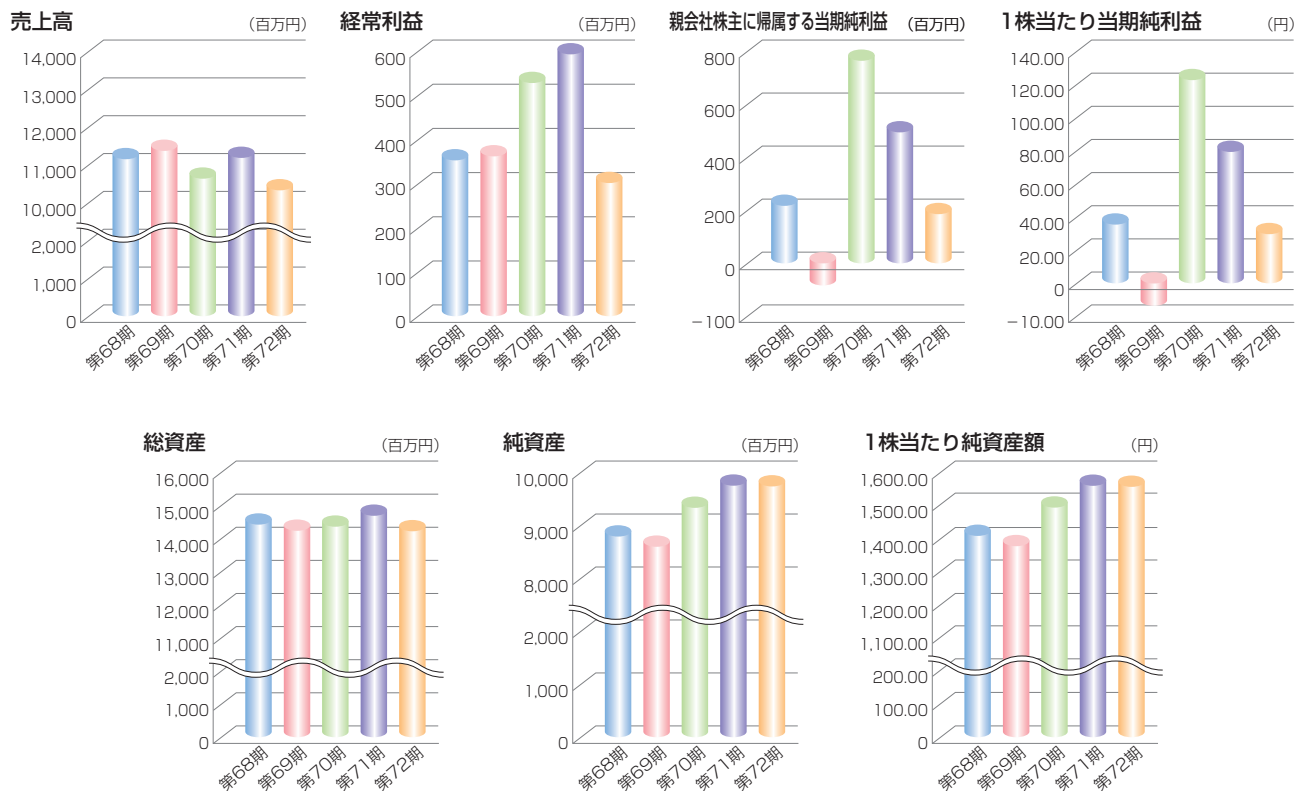
(5) 水性防水塗料



環境負荷の少ない健康に優しい製品で、水性化技術の応用又アクリル樹脂を使用した水性防水材・水性外壁防水材として建物の長寿命化に貢献しています。

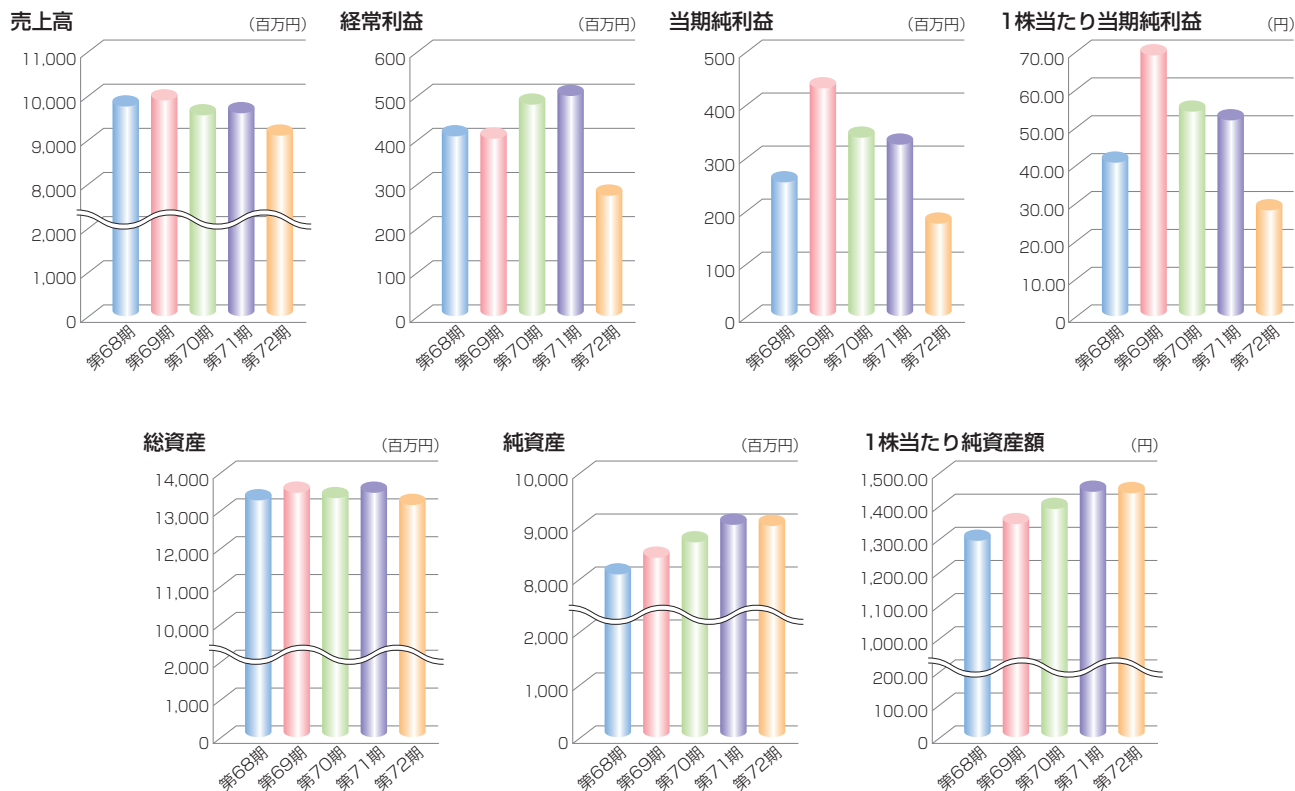
業績の推移

当社グループの業績の推移





当社の業績の推移



区分		第68期 2015年3月期	第69期 2016年3月期	第70期 2017年3月期	第71期 2018年3月期	第72期 2019年3月期
売上高	(百万円)	9,744	9,882	9,545	9,592	9,085
経常利益	(百万円)	407	401	478	498	272
当期純利益	(百万円)	252	429	336	323	174
1株当たり当期純利益	(円)	40.47	68.84	53.94	51.68	27.88
総資産	(百万円)	13,251	13,452	13,308	13,450	13,128
純資産	(百万円)	8,066	8,382	8,672	9,003	8,983
1株当たり純資産額	(円)	1,292.24	1,342.69	1,388.47	1,440.15	1,435.98

連結決算報告(要約)

連結貸借対照表

(単位：千円)

科目	前連結会計年度 (2018年3月31日現在)	当連結会計年度 (2019年3月31日現在)
(資産の部)		
流動資産	8,871,257	8,508,169
固定資産	5,808,013	5,703,410
有形固定資産	4,426,543	4,480,600
無形固定資産	202,667	204,614
投資その他の資産	1,178,803	1,018,196
資産合計	14,679,270	14,211,580
(負債の部)		
流動負債	3,986,033	3,641,017
固定負債	950,929	841,565
負債合計	4,936,963	4,482,583
(純資産の部)		
株主資本	9,408,838	9,498,567
資本金	1,040,000	1,040,000
資本剰余金	692,570	692,570
利益剰余金	8,078,010	8,165,814
自己株式	△ 401,741	△ 399,816
その他の包括利益累計額	333,469	230,428
その他有価証券評価差額金	337,493	233,970
退職給付に係る調整累計額	△ 4,024	△ 3,541
純資産合計	9,742,307	9,728,996
負債純資産合計	14,679,270	14,211,580

「会社法施行規則及び会社計算規則の一部を改正する省令」(法務省令第5号2018年3月26日)を当連結会計年度の期首から適用し、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示する方法に変更しました。

連結損益及び包括利益計算書

(単位：千円)

科目	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
売上高	11,178,940	10,321,076
売上原価	7,804,872	7,313,403
売上総利益	3,374,068	3,007,673
販売費及び一般管理費	2,795,368	2,727,453
営業利益	578,700	280,219
営業外収益	22,467	27,630
営業外費用	8,573	6,671
経常利益	592,594	301,178
特別利益	112,530	544
特別損失	542	484
税金等調整前当期純利益	704,582	301,239
法人税、住民税及び事業税	53,712	64,016
法人税等調整額	157,148	52,978
当期純利益	493,722	184,244
親会社株主に帰属する当期純利益	493,722	184,244
その他の包括利益	19,215	△ 103,040
包括利益	512,937	81,204

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科目	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	870,012	500,111
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 519,962	△ 274,504
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 278,870	△ 379,358
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 1,962	2,238
現金及び現金同等物の増減額(減少：△)	69,217	△ 151,513
現金及び現金同等物の期首残高	2,808,549	2,877,766
現金及び現金同等物の期末残高	2,877,766	2,726,252

連結株主資本等変動計算書

当連結会計年度(自2018年4月1日 至2019年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本				株主資本 合計	その他の包括利益累計額			純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式		その他有価証券 評価差額金	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	1,040,000	692,570	8,078,010	△ 401,741	9,408,838	337,493	△ 4,024	333,469	9,742,307
当期変動額									
剰余金の配当			△ 96,440		△ 96,440				△ 96,440
親会社株主に帰属する当期純利益			184,244		184,244				184,244
自己株式の取得				△ 2	△ 2				△ 2
自己株式の処分				1,927	1,927				1,927
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						△ 103,523	483	△ 103,040	△ 103,040
当期変動額合計	—	—	87,803	1,925	89,729	△ 103,523	483	△ 103,040	△ 13,311
当期末残高	1,040,000	692,570	8,165,814	△ 399,816	9,498,567	233,970	△ 3,541	230,428	9,728,996

決算報告(要約)



貸借対照表

(単位：千円)

科目	前事業年度 (2018年3月31日現在)	当事業年度 (2019年3月31日現在)
(資産の部)		
流動資産	7,752,298	7,531,894
固定資産	5,698,271	5,596,602
有形固定資産	4,324,421	4,377,217
無形固定資産	190,099	192,311
投資その他の資産	1,183,750	1,027,073
資産合計	13,450,570	13,128,496
(負債の部)		
流動負債	3,572,769	3,376,766
固定負債	874,283	768,246
負債合計	4,447,053	4,145,013
(純資産の部)		
株主資本	8,669,033	8,748,881
資本金	1,040,000	1,040,000
資本剰余金	692,570	692,570
利益剰余金	7,338,205	7,416,128
自己株式	△ 401,741	△ 399,816
評価・換算差額等	334,483	234,601
その他有価証券評価差額金	334,483	234,601
純資産合計	9,003,516	8,983,483
負債純資産合計	13,450,570	13,128,496

「会社法施行規則及び会社計算規則の一部を改正する省令」(法務省令第5号2018年3月26日)を当事業年度の期首から適用し、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示する方法に変更しました。

損益計算書

(単位：千円)

科目	前事業年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
売上高	9,592,534	9,085,258
売上原価	6,702,630	6,489,049
売上総利益	2,889,904	2,596,209
販売費及び一般管理費	2,425,298	2,361,506
営業利益	464,605	234,702
営業外収益	42,260	44,850
営業外費用	8,573	6,671
経常利益	498,292	272,880
特別利益	276	544
特別損失	400	442
税引前当期純利益	498,168	272,982
法人税、住民税及び事業税	14,832	45,060
法人税等調整額	160,314	53,558
当期純利益	323,021	174,363

株主資本等変動計算書

当事業年度(自2018年4月1日 至2019年3月31日)

(単位：千円)

	株 主 資 本					評価・換算差額等		純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合 計	その他有価証券 評 価 差 額 金	評価・換算 差 額 等 合 計	
当期首残高	1,040,000	692,570	7,338,205	△ 401,741	8,669,033	334,483	334,483	9,003,516
当期変動額								
剰余金の配当			△ 96,440		△ 96,440			△ 96,440
当期純利益			174,363		174,363			174,363
自己株式の取得				△ 2	△ 2			△ 2
自己株式の処分				1,927	1,927			1,927
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						△ 99,881	△ 99,881	△ 99,881
当期変動額合計	—	—	77,923	1,925	79,848	△ 99,881	△ 99,881	△ 20,033
当期末残高	1,040,000	692,570	7,416,128	△ 399,816	8,748,881	234,601	234,601	8,983,483

株 式 情 報

1. 株式の状況 (2019年3月31日現在)

発行可能株式総数 30,000,000株
 発行済株式の総数 7,242,000株
 株主数 1,010名
 大株主 (上位11名)

株 主 名	持株数	持株比率
西川不動産株式会社	978千株	15.21%
アトムクス取引先持株会	785	12.22
東京中小企業投資育成株式会社	700	10.88
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	321	4.99
西川正洋	280	4.36
日本スタートラスト信託銀行株式会社 (株式付ESOP信託口・757150)	173	2.69
ナラサキライン株式会社	134	2.09
東洋テック株式会社	126	1.95
株式会社光通信	125	1.94
楠本化成株式会社	106	1.64
日本スタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	106	1.64

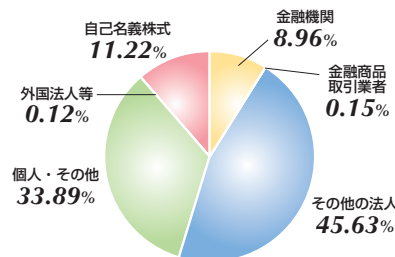
※持株数については千株未満を、持株比率については小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。また、持株比率は株式付ESOP信託口が保有する173,400株を除いた自己株式812,617株を控除して算出しています。

2. 株主メモ

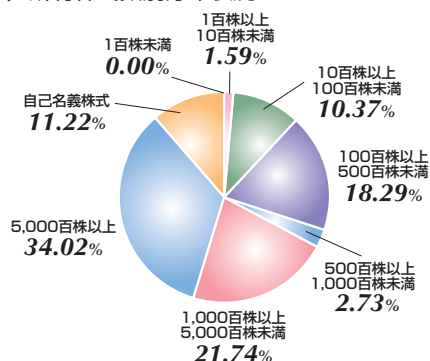
事業年度 4月1日～翌年3月31日
 期末配当金受領株主確定日 3月31日
 中間配当金受領株主確定日 9月30日 (中間配当を実施するとき)
 定時株主総会 毎年6月
 株主名簿管理人・特別口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
 同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 東京都府中市日鋼町1-1
 電話 0120-232-711 (通話料無料)
 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 同送付先
 上場証券取引所 東京証券取引所
 証券コード 4625
 公告の方法 電子公告
 URL <https://www.atomix.co.jp>
 (やむを得ない事由により、電子公告によることができない場合は、日本経済新聞により公告いたします)

3. 株式分布状況 (2019年3月31日現在)

(1) 所有者別分布状況



(2) 所有株式数別分布状況



※小数点第3位以下を切り捨てているため、合計は100%となりません。また、自己名義株式は株式付ESOP信託口が保有する173,400株を除いています。

会社概要

1. 会社概要 (2019年3月31日現在)

商号 アトミクス株式会社
本社 東京都板橋区舟渡三丁目9番6号
創業 昭和12年2月
資本金 10億4000万円
従業員数 229名
※従業員数に嘱託社員を含めています。

2. 主要な事業所及び工場

本社 東京都板橋区
大阪支店 大阪府大東市
神田事務所 東京都千代田区
札幌営業所 北海道札幌市
仙台営業所 宮城県仙台市
新潟営業所 新潟県新潟市
横浜営業所 神奈川県横浜市
名古屋営業所 愛知県名古屋市
広島営業所 広島県広島市
福岡営業所 福岡県福岡市
加須工場 埼玉県加須市
久喜工場 埼玉県久喜市
岡山工場 岡山県勝田郡奈義町

3. 役員 (2019年6月27日現在)

代表取締役社長 神保敏和
取締役 村岡正己 (社長室長)
花形裕透 (道路事業部長)
小川博巳 (技術本部長)
富士田学 (管理統括部長)
田中滋子 (社外取締役・独立役員)
常勤監査役 佐藤亮介
監査役 上原左多男 (社外監査役・独立役員)
石川伸吾 (社外監査役)

4. ご案内

東京ビッグサイトや幕張メッセなどで開催される展示会に多数出展いたします。詳細につきましては、当社ホームページにて会場の様子などの写真を順次掲載いたしますので、ぜひご覧ください。

※写真は前回の様子です。



ATOMIX

<https://www.atomix.co.jp>